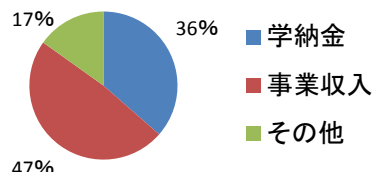


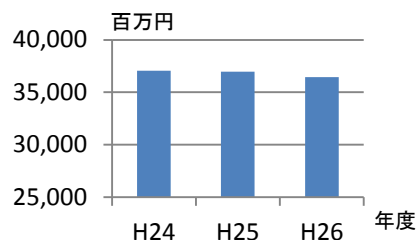
平成26年度 学校法人帝京大学収支決算

帰属収入の内訳(平成26年度)

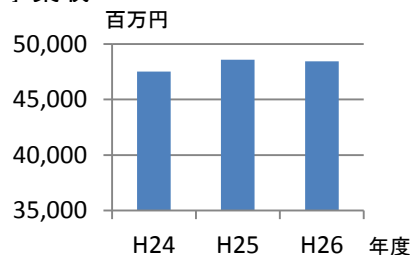


学納金(学生生徒等納付金)と事業収入(医療収入等)の合計が帰属収入の83%を占めています。

学生生徒等納付金



事業収入



学納金と事業収入は何れも安定的に推移しています。

消費収支計算書の年度別推移

(単位:百万円)

収入の部			
科目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	37,068	36,958	36,441
手数料	1,314	1,462	1,415
寄付金	964	5,162	1,037
補助金	3,980	4,499	4,243
資産運用収入	3,305	3,862	3,952
資産売却差額	1,753	1,275	3,305
事業収入	47,520	48,569	48,420
雑収入	1,806	1,725	1,181
帰属収入合計	97,710	103,512	99,994
基本金組入額合計	△ 15,120	△ 25,589	△ 17,874
消費収入の部合計	82,590	77,922	82,120

支出の部			
科目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費	32,680	34,221	35,401
教育研究経費	38,332	41,020	42,093
管理経費	7,839	9,514	10,188
借入金等利息	0	0	0
資産処分差額	7,940	1,692	955
徴収不能引当金繰入額	282	70	605
徴収不能額	6	1	2
消費支出の部合計	87,078	86,518	89,244
当年度消費収入超過額	△ 4,487	△ 8,595	△ 7,124
前年度繰越消費収入超過額	△ 37	△ 1,783	△ 10,379
基本金取崩額	2,740	0	0
翌年度繰越消費収入超過額	△ 1,783	△ 10,379	△ 17,503

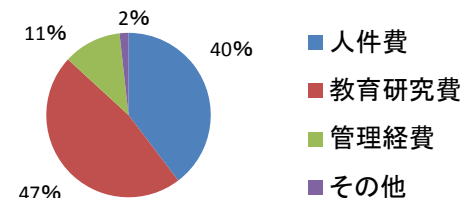
帰属収支差額	10,632	16,994	10,750
消費収支差額	△ 4,487	△ 8,595	△ 7,124

文系学部の収容定員管理を厳格化したことなどにより、授業料等の収入が減少しました。

金融資産は利回りとともに安全性も重視して運用しています。

本学は教育環境の充実を積極的に進めており、中長期的な収支の安定化を図るために、基本金組入を計画的に実施しています。

消費支出の内訳(平成26年度)



消費税率の引き上げが教育研究経費と管理経費の増加に大きく影響しました。

帰属収支差額は短期的な収支バランスを、消費収支差額は将来の設備投資計画等も含めた中長期的な収支バランスを、それぞれ示しています。多額の基本金組入により、消費収支差額は3年連続の支出超過(約71億円)となりました。